

会報

編輯後記

一、三十五年度總會を山一証券の御好意で、同大分支店二階會議室で七月三日に行つたが、田北学、渡辺澄夫両氏の大友初代能直の出自に就ての論争は近來ない熱の入つたよい発表であつた。其他多数の発表者何れも真面目な研究成果であつたのと、会場が冷房装置であつたので暑さ知らずに盛會裡に終ることが出来た。

一、今回は各原稿とも紙数が多かつたので、予定の紙数を超過し、むなく割愛し次号に廻しました。

二、会員の近作者書、各地支部の活動状況のお知らせも同前。

三、出来るだけかわつた会員の広範圍な発表をお願いします。早目に御寄稿下さい。

四、編者他行事も同時となつたので、充分の校正が出来ず、誤植、脱字其他の多いことをお詫びする。

(立川記)

二、總會で會員名簿を紙上発表せよとのことであつたが、紙数超過で次号に廻した。悪しからずお赦下さい。

三、会費未納の方は至急納入下さい。切にお願い致します。

四、会の維持発表は會員の増加にあることは今更申し上げるまでもありません、各員各位の増加に就ての御尽力を願います。

雜報

目下毎日新聞連載中の「大分県の歴史と文化」に就ての感想や新史料御気づきの点をお知らせ下さい。

昭和三十五年九月二十三日印刷
昭和三十五年九月二十五日発行

会費 年三〇〇円
本号に限り貳百円

編輯兼 代表者 渡 澄 夫
発行人 高 井 久 雄
印刷人 大分市上野 電話三七七五番

印刷所 三恵印刷株式会社

大分市駄原 大分大学
学芸学部国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会

(振替下関五二九四番)